

D O N C どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

〒514-0006 津市広明町418
418, Komei-cho Tsu-shi
TEL 059-226-2766
FAX 059-229-0967

N° 67 janvier 2004 SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

三重日仏協会 3月に二つの事業

3/12 (金) 井上二葉ピアノ独奏会

《ガブリエル・フォーレ没後 80 周年記念》

本紙前号でも予告しましたように、ムーサイオン演奏企画との共催で標記の演奏会を開催します。当代屈指のフォーレ弾きによるすべてフォーレ作品の演奏、当地ではなかなか聴くことのできない魅力的な企画です。この機会を逃さずご来場ください。前売券 (3,000 円) は会員の針谷さん (059-227-0454)、または井土 (059-226-2766) まで。

- ・日 時 3月12日 (金) ・午後7時開演
- ・場 所 津リージョンプラザお城ホール

曲目その他詳細は同封のチラシをご覧ください。

3/27 (土) 柏木先生による文芸講演会 n°6

アルフォンス・ドーデ『最後の授業』をめぐって — 南仏とアルザス、そして日本 —

本会は松阪市出身で大阪大学教授 (フランス文学) の柏木隆雄先生には、これまでもバルザック、ユゴーなどに関し興味深い視点での講演をお願いしてきましたが、今年も下記のように先生による6回目の文芸講演会を開催できることになりました。一般公開 (無料) ですので、ぜひお誘い合わせてご来聴ください。講演終了後、懇談会 (会費制) も計画していますので、参加ご希望の方は事務局まで。

- ・日 時 3月27日 (土) ・午後2時より
- ・場 所 アスト津3Fミーティングルーム1・2 (津駅前)

柏木先生 <いま国語の教科書からはずされているドーデの『最後の授業』の面白さ、複雑さをお話しして、明治以来の彼への評価の変遷、そして国語問題に広げられればよいと思います。さらに鴎外、漱石が大文豪としたドーデがいまそれほど読まれなくなったこと、ドーデを育んだ南フランスの文化、言語などについても触れていきたい。>

お隣りの県の奈良日仏協会は、その活発な日常活動で全国の日仏協会のなかでも特に目立った存在です。長年事務局長として活躍される仲井秀明さんに連帯の一文を寄せていただきました。今後の本会の活動にも大きな示唆となるものと考えます。なお仲井さんは1997年フランス政府から教育文化功労章を受章されています。

「コミュニケーション」の広がり可能性

仲井秀昭

皆さん、BONJOUR! ご無沙汰しております。奈良→東大阪の仲井です。以前、何回か三重日仏協会の活動に参加させて頂きました。現在は奈良(生駒)から山を越えた石切に住んでいます。

当時と同じく奈良日仏協会の事務局長をしておりますが、当会のメンバーは会長や僕を初めとして大阪や近隣の在住者が多いです。さらに催しにはメンバー以外の参加者が多く、良い意味でも悪い意味でも“メンバー意識”が希薄かもしれません。それでも“核”は他の会と同じように忠実なコアとして会を支えています。

仕事の面でも、趣味の点でも、もちろん日仏協会の活動においてもキーワードは“コミュニケーション”だと実感しております。僕は語学を教えますが、外国人とのコミュニケーションがうたわれながらもなかなか日本人の能力は向上しない。

大学でもかつての文法・講読を中心とした授業が会話重視へと変わりつつある。でも、「会話」を教えてもそれはパターンを繰り返し、積み重ねるだけで、実際のコミュニケーションにつながらないことが多々あります。そこで、最近、僕は教室はそれ自身「コミュニケーションの場」でなければいけないと思っています。教師から学生への働きかけ(説明)自体が外国語という母国語とは別のモードでなければいけないし、学生間の興味ある話題の交流の機会を提供することが教師の役割だと思います。

あ、ちょっと抽象的になってしまいました。よろしければ、別の機会に語学教育論をお話させて頂きたいな。

「日仏」協会が絶好のコミュニケーションの枠組みになりつつあると実感しているのは、例えばフランスではいま“日仏協会”が95もあるということや、京都にあるフランスやヨーロッパのアーティストが滞在する施設であるヴィリア九条山に来る人たちの日本文化に関する興味や知識が深く、ヴァリエティに富んでいることへの驚きの体験から来ています。

三重も伊勢神宮があるし、関西にも近い。これらの交流の枠組みを利用しない手はないと思います。今までもフランス(人)との交流を積極的にやって来られたと思いますが、その機会はますます増えて来ています。

一方、ヨーロッパ内はEUとして文化的にもその全体像が変化しつつありますね。昨年、在大阪・神戸フランス総領事の呼びかけに応じて、奈良日仏協会は奈良日独協会と共同で文化行事を行いました。これは楽しかった! フランス好きの人とドイツ好きの人とはやはりタイプが微妙に違って、いい刺激になりました。音楽家の会員さんが即席でセッションを組んだりもしました。この関係は他のヨーロッパの国々に興味を持つ人たちとの交流に広がっていったらと思っています。

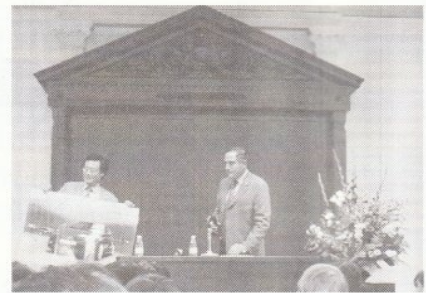
日本にはますます多くのフランスの企業が進出してきています。彼らはフランスと日本との文化的橋渡しを日仏協会に期待しています。昨年、奈良日仏協会ではルノー・ジャポンのAlain Lehmann社長を招きました。非常に気さくな方で、日本語がお上手。日産とルノーとの提携の際に感じた日仏の社会/会社の組織、考え、伝統の違いを体験に基づいてお話して頂き、目からウロコ状態になりました。

日仏協会はこのような日本とフランス/ヨーロッパを取り巻く状況の変化の中で、新しい役割が期待されるし、それが可能で、しかも楽しいことだと思います。ぜひぜひ隣の県同士で共闘を組もうじゃありませんか!

(奈良日仏協会事務局長 三重日仏協会会員)

hideki.nakai@nifty.com

http://www.kec.ne.jp/~afjn/



ルノー・ジャポンのアラン・レーマン社長と仲井さん

フランス大使、総領事から新年の祝詞

L'Ambassadeur de France au Japon et Madame Bernard de Montferrand vous présentent leurs meilleurs vœux pour l'année 2004.

謹んで新春のお慶びを申し上げます
2004年元旦



大使館員総出演の年賀状の表紙

駐日フランス大使
ベルナール・ド・モンフェラン夫妻

また在大阪・神戸フランス総領事ローラン・パドゥ
氏からも同様に祝詞をいただきました。

FRANCE JAPON INFO janvier 2004

在日フランス大使館広報部発行の情報誌『フランス・ジャポン・アンフォ』〈France - Japon Info〉の1月号が届いております。同誌は季刊でカラー印刷・A4判4ページ。中身はフォトトピックス、日仏イベントカレンダー（1～3月）、「発言」〈Ils ont dit...〉、「日仏動向」〈La France bouge〉など、多彩で読みやすい編集となっています。希望者は事務局まで。

同ホームページは：www.ambafrance-jp.org

メールアドレス：pao2tkyo@ma.rosenet.ne.jp

色の音楽・手の幸福 ロラン・バルトのデッサン展

開催中 1/14(水)～2/15(日)

ロラン・バルトは作家、哲学者、思想家として世界的にそのエクリチュールが知られていますが、デッサンも多数残しています。国立ポンピドゥー芸術文化センターが最近一般に公開し、話題となったこれらのデッサンが、今回初めて来日し、京都で展示されています。貴重な機会をお見逃しなく。

・日時 1月14日(水)～2月15日(日) 9:30～16:30 (月・火は休館)

・場所 京都大学総合博物館 (お問合わせ) ☎075-753-3272

・入場料 一般400円

◆主催 関西日仏学館、京都大学 ほか

プロヴァンス3画伯の作品 20 余点 医療・福祉施設などに寄贈

2002年、三重日仏協会創立15周年記念事業として四日市市で開催した『プロヴァンスの光と風…現代南フランス画家3人展…』には、アルランディス、マリー＝ノエル・デレトワル、ヴィクトル・バッシ3画伯の作品約90点が展示され好評を博しましたが、このたび画家たちの意向でその一部20点余を本会を通じて三重県内の公的な施設などに寄贈することとなり、昨年年末から順次実施中です。寄贈の対象となったのは、県立病院、老人ホーム、県立高校の美術教室その他で、それぞれ傾向は違ってもいずれも南仏らしい明るい色調の作品が歓迎され、特に医療機関関係者は「患者さんたちの心の癒しになる」と喜んでいました。



三重県立の4病院を代表して作品を受けとる大江洋三重県病院事業庁長（津市城山の三重県こころの医療センターで）

「ボジョレ・ヌヴォー・パーティー」100人が楽しむ

2003年のボジョレ・ヌヴォー・パーティーは「解禁日」の11月20日（木）夜、津市のプラザ洞津で、ワインショップ・ウチヤマと共催で開催されました。猛暑だった今夏のフランスの気候を反映してぶどうの生育は例年よりはるかに早く芳醇で、新酒の出来も上々とあって、県内各地から集まった約100人の愛好家たちも満足げに次々とボジョレほか各種の新酒の杯を重ねていました。

伊藤隆之さん（在パリ）が4枚目のCD ドビュッシーの珍しい曲も収録

パリで活躍中のピアニスト伊藤隆之さん（四日市市出身）は1997年以来、ドビュッシーの作品を中心に3枚のCDを発表し好評を得てきましたが、このほどフランスのARION社から4枚目となる〈クロード・ドビュッシーピアノ曲集 Vol.3〉をリリースしました。ドビュッシーのピアノ音楽の研究・演奏は伊藤さんのライフワークとなっており、特に今回のCDには、代表作『版画』などのほかに、ピアノ・ソロのヴァージョンとしてはほとんど知られていない『6つの古代碑名』や、伊藤さんが古い楽譜出版社の倉庫で発見したという『選ばれた乙女・前奏曲』など、たいへん珍しい曲も収録されており注目されます。

CD（実費2,400円）を希望される方は、実家の伊藤宗平、幸子さん（本会会員・0593-37-2248）まで。

〈Boutique de Vin SUZUYA〉四日市市鶴の森に開店

三重日仏協会会員でワインアドバイザーの杉本静彦さんはこれまで四日市市北部の富田で酒店を経営してこられました。沙智代夫人とともに長年の夢として温めてきたワインとチーズの専門店を近鉄四日市駅西に出店することとなり、この1月11日オープンしました。「小さな小さな店ですが、土地・畑の個性や特徴が豊かに薫り、作り手の情熱が伝わってくるようなワインと、自然の中で大切に育て作られた農家製ナチュラルチーズを取り揃えました。もちろんフランスを中心に。買い物だけというのではなく、ご質問等々とにかくお喋りしに来てください。また3月には寛ぎながらワインとチーズを楽しんでいただけるスペースを2階にオープンいたします。お越しを心よりお待ちしております。」と杉本さん。

ブティック・ド・ヴァン スズヤ 四日市市鶴の森2丁目8-15 ☎0593-50-2500
定休・火曜日 全店禁煙